

井原市ふれあいセンターだより

NO.5 1

発行 井原市ふれあいセンター
所在地 井原市神代町2192-1 TEL 63-2929
E mail furesen@ibara.ne.jp
URL http://www.ibara.ne.jp/~furesen/

平成21年3月15日

ふれあいニュース



『第16回ふれあいセンターまつり』が2月8日(日)に開催され、多くの方がふれあいセンターを訪れました。

ふれあいセンターは、生涯学習の推進をはかる役割を担い、大勢の人が利用しています。現在、茶道や生花、囲碁、書道、陶芸の5講座をはじめ、ダンススポーツやパソコンなどの同好会が活動しています。

このまつりは、ふれあいセンターの日ごろの活動の成果を披露する他、人権や福祉について考え、ふれあいを深める場にしようと毎年行われています。

ふれあいセンターの2階では、センターで行われている講座や、同好会をはじめ、市内6地区の公民館活動の展示があり、書道や、手芸、陶芸、写真など多彩な作品がホールいっぱい並びました。

会場には、こだま園や偕楽園などの福祉施設の利用者の温もりを感じる手作りの作品や、人権に関するポスター、標語の優秀作品の展示もあり、幅広い分野の力作に大勢の人たちが熱心に見入っていました。

ほかにも、茶道講座による無料のお茶席や、福祉団体による出店も設けられ、会場は訪れた人で賑わいました。

今回ふれあいセンターまつりに出品・出店協力いただいた方々

(ご協力ありがとうございました)

- 公民館（稲倉、県主、木之子、荏原、野上、青野）
- ふれあいセンター講座（陶芸、生花、書道、茶道）同好会（パソコン）
- 市内小学校児童・木之子中学校生徒（美術部）
- 市内福祉施設（こだま園、芳井ふれあい作業所、きのこ荘、みずき、あゆみ園、はばたき作業所、太陽の会、偕楽園、長楽園、小田川荘）
- 地域人権運動井原の会女性部、ねこねこランド、エプロンおばさん・野宮商店五味会



書道、生花講座生の作品



公民館活動の作品



楽しくお買い物



お茶席で一服

ご来場ありがとうございました！

「親子そばうち体験会」

手作りの味にしたつづみ

12月7日(日)親子そばうち体験会を行いました。体験会には、7組14名が参加し、お母さんたちと一緒に4名のお父さんがそばうちを体験しました。体験会では、そば粉8割と小麦粉2割を使う二八そばをつくりました。

なかでも、お父さんたちは、日ごろ世話になっている家族を手料理でもてなそうと、作り方をメモに取ったり、講師に熱心に質問したりしていました。

そして出来上がった手打ちのそばを、みんなを美味しくいただきました。

「笑いの講座」

笑って健康元気アップ



笑い与健康をテーマにした講演会(井原市主催)が12月14日(日)、ふれあいセンターで開かれ、大分市にある曹洞宗南陽山勝光寺の南慧昭(みなみえしょう)住職が、ユーモアを交えながら健康の秘けつを紹介してくださいました。

この日は地域住民ら約60人が聴講し、南住職は、「仏心は歌心 心の健康」と題して講演されました。

南住職は、フォークグループ「かぐや姫」の、南こうせつさんの実兄で、

ご自身も、お坊さんシンガーソングライターとしてもCDアルバムを発表されています。

南さんの実家が曹洞宗のお寺で、慧昭さんは長男なので、本来ならばお寺を継ぐべきところを、定年までサラリーマンをされました。その間、弟(次男)さんがお寺を継がれましたが、病気でお亡くなりになり、そんなこともあり、慧昭さんは60歳から仏門にお入りになったのです。

曹洞宗は修行をしないと住職の資格が取れないそうで、60歳からの修行は命がけだったそうです。たとえば、大変な厳しい修行なのか、ということになります。が、厳しい様々な行もあったようですが、他にも日常的にすることとして掃除や料理など、これも立派な修業だそうです。

お寺を継がれるまでのお話の他に、家庭問題、環境問題といった幅広い社会の問題について僧侶の視点からお話下さいました。

そして、講演の後半には弟のこうせつさんに負けない歌唱力で自作の歌を披露され、日本人が忘れかけている、人に対する思いやりやありがとうの一言の大切さを歌で呼びかけられました。手拍子を混じえた「歌説法」に聴講者は体を動かしながら心身ともにリフレッシュすることが出来ました。

「小学生習字教室」 みんな一生懸命書きました!

小学生習字教室が1月5日(月)午前9時から行われました。

この教室は、ふれあいセンターの新年の恒例行事として、毎年開かれています。

今回は井原市内から、45人の児童が参加して、書初めに挑戦しました。

習字教室は、1階の和室に硬筆の1、2年生、2階コミュニティホールに3～6年生の毛筆の2グループにわかれ、学年ごとの課題に取り組みました。

習字教室には、荏原、木之子、稲倉小学校の3名の先生が訪れ、子どもたちの指導にあたりました。

児童は真剣なまなざしで、今年初めての習字に取り組みました。

みんな手本をよく見て、先生のアドバイスを聞きながら、きれいな字を根気よく書きました。

尚、この日書いた作品は学校に宿題として提出する他、2月8日(日)の「ふれあいセンターまつり」でも展示されました。

